



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

CONTENTS

ごあいさつ	1	国内出展社アンケート、 海外出展社アンケート	7
第41回 国際福祉機器展 H.C.R. 2014報告		広報、PR活動、 車いす貸出コーナー、シャトルバス	8
H.C.R.国際シンポジウム	2		
H.C.R.セミナー	3		
H.C.R.特別企画	4		
出展社プレゼンテーション	5		
来場者アンケート	6		

編集・発行：一般財団法人 保健福祉広報協会
Publisher: Health and Welfare Information Association
住所：〒100-8980
東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

New Year H.C.R. 2015

福祉・介護制度の充実と安定化が国民的課題

わが国は、世界に例を見ない速さで少子・高齢化が進んでおり、とくに、福祉・介護の分野においては、2025年の高齢化のピークに向けて、増え続ける介護ニーズに対応する介護保険制度の改革、障害者の自立生活を支援する障害者支援制度の一層の充実など、福祉・介護サービスの基盤整備を具体化していくことが喫緊の課題となっています。

政府においては、社会保障の充実・安定化とそのため安定財源確保と財政健全化の同時達成を目指した「社会保障と税の一体改革」が進められていますが、国民が誰でも安心して安全に暮らせる社会を実現する改革となることが期待されます。

福祉機器をめぐる動向としては、政府が平成26年6月に取りまとめた「日本再興戦略」改訂2014において、「ロボットによる新たな産業革命の実現」が追加され、介護・医療をはじめとするロボット開発・市場拡大を重点事業に位置づけ、介護ロボットの開発支援・導入促進への取り組みをさらに強化することとされています。

また、介護保険制度の改正の議論において、平成27年4月より福祉用具の対象品目の追加が予定されており、さらには、平成28年に向けて障害者総合支援法の見直しの議論が進められるなど、福祉機器に対する期待はさらに高まっています。

H.C.R.の一層の充実をめざします

高齢者や障害者の福祉分野、リハビリ・介護サービス関連分野においては、質的・量的に多様化するニーズへの対応がさらに求められています。

福祉・介護の現場においては、高齢者や障害者など支援を必要とする方々が生活する福祉施設や介護施設における自立支援の個別化・高度化や業務省力化への対応、また、在宅で生活する高齢者や障害者の心身機能の維持・向上を図り自立生活を支えるため、福祉・リハビリ・介護関連機器や関連サービスの拡充がますます重要になっています。

国際福祉機器展は、国際展示会として毎年開催されるようになってから23年となりました。昨年は、584社（国内530社、海外54社）による約2万点の福祉機器の展示、そして、12万7千人を超える方々のご来場をいただき、大変活気のある展示会となりました。

H.C.R.は、今年も、これまで出展をいただきました企業や団体との協力関係と基盤をもとに、移動、福祉車両、ベッド、入浴、トイ

レ、衣類、コミュニケーション・見守り、住居、リハビリ、義肢・装具、日常生活支援用品など、生活のあらゆる場面で利用される福祉・介護機器などの普及と開発に向けて、7つの目標をかかげ、幅広い福祉分野の発展に生かせる情報提供を図ってまいります。

国際福祉機器展の目標

- 1 豊かで安心・安全のための社会・システムづくりに貢献します
- 2 高齢者・障害のある人々の自立生活とリハビリ・介護の向上に貢献します
- 3 福祉機器の適切な利用と普及促進に貢献します
- 4 福祉機器の開発と関連ビジネスの発展に貢献します
- 5 福祉・リハビリ・介護等の人材養成・確保に貢献します
- 6 福祉・介護等サービス事業者の発展に貢献します
- 7 国際交流・海外情報の提供に貢献します

